

# 都市再生整備計画(第2回変更)

いわたえききた  
磐田駅北地区

しずおか 静岡県 いわたし 磐田市

平成20年3月



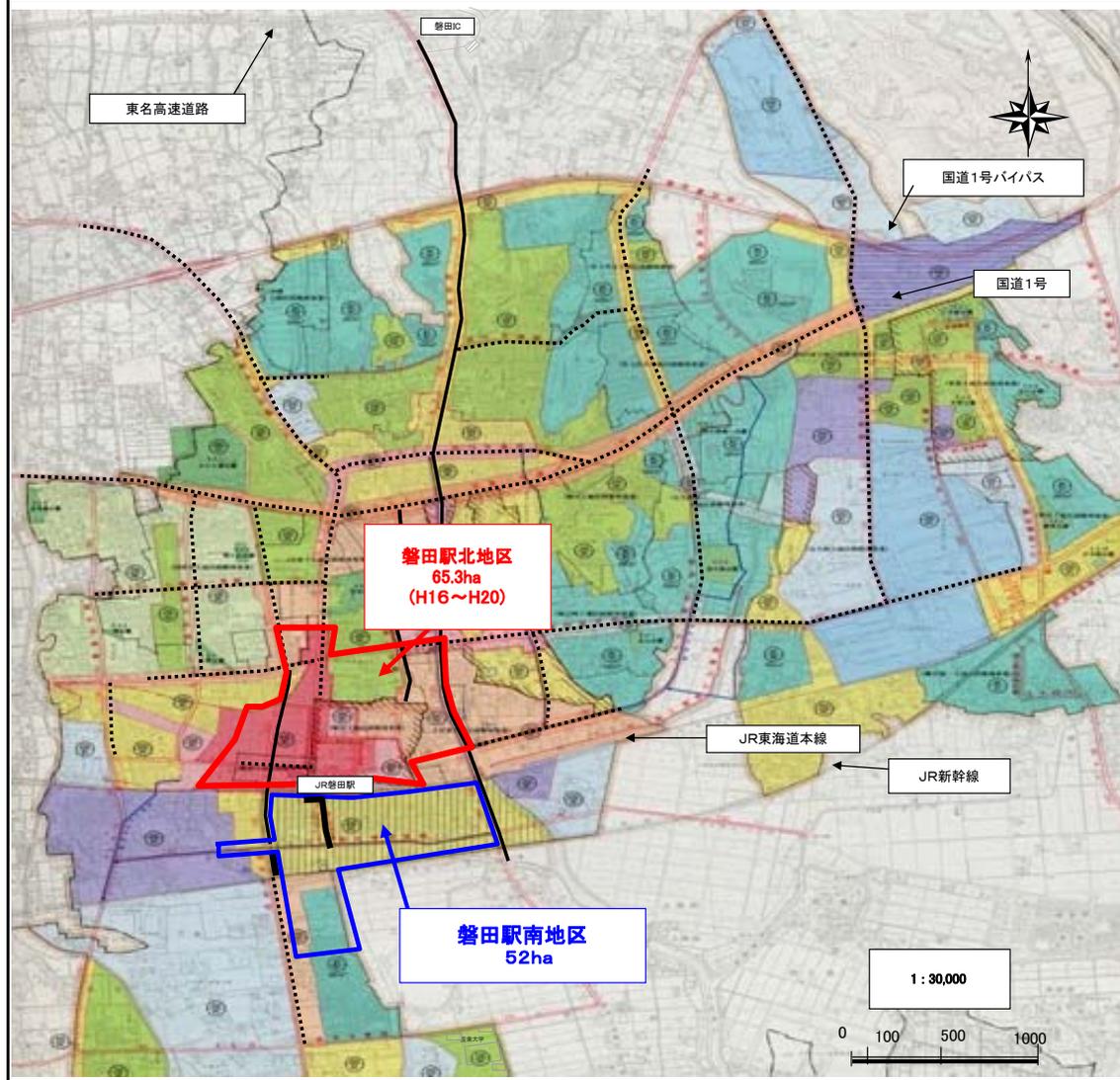
## 都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>・都市基盤と施設整備が合わせて行われる面的整備の中で、新たな都市施設やサービスを充足し、衰退傾向にある駅周辺の求心力を回復させ、にぎわいや楽しさといった街の魅力の向上を図る。</p>	<p>・磐田市駅北土地区画整理事業(基幹事業)            ・駅北1号・2号公園整備事業(駅北土地区画整理事業内)(基幹事業)            ・磐田駅天竜線道路改良事業(基幹事業)            ・磐田駅前地区第一種市街地再開発事業(関連事業 県道整備事業、再開発事業)</p>
<p>・市街地再開発事業においては、商業施設、公共公益施設、都市型住宅、駐車場等の整備をする。</p>	<p>・磐田駅前地区第一種市街地再開発事業(関連事業 県道整備事業、再開発事業)            ・駅前市営駐車場取得事業(基幹事業、関連事業)</p>
<p>・駅周辺の中心性向上を相応させながら北口駅前広場整備を行い、基幹的な都市整備基盤をほぼ完成させる。一方、再開発地区の周辺では、波及効果を受けながら、より一層の街の魅力づくりに向けた都市機能と環境の整備を図る。</p>	<p>・(仮)磐田駅北口広場整備事業(関連事業)            ・県道磐田停車場線(都市計画道路磐田駅天竜線)道路拡幅=シンボルロード化(磐田市駅北土地区画整理事業及び磐田天竜線道路改良事業において施行)</p>
<p><b>その他</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○8万人都市から17万人都市の顔へ              磐田市は、近隣3町1村との合併を平成17年4月1日を控えており、合併後の当地区は、17万人都市の中心市街地としての役割を担うこととなる。</li> <li>○事業終了後の継続的なまちづくり活動              当地区においては、表立った「まちづくり活動」が見受けられないのが現状である。基盤整備を進めるとともに、地元に対して啓蒙活動を行い、最終的にはまちづくり活動組織となる特定非営利活動法人(NPO法人)設立を期待したい。</li> <li>○街並み形成の誘導を図るための方策について              シンボルロードに面する区画整理側、再開発側については、地区計画を制定し、1mの壁面後退等を定めている。しかし、それ以外商店は、昭和40年代のアーケードを利用し、修繕を重ねながら現在に至っているのが現状である。今後は、随時基盤整備を進める上で、老朽化したアーケードを新設あるいは除却するとともに、無電柱化を進め、ゆとりある歩行者空間を生み出していく。</li> <li>○交付期間中の計画の管理について              交付期間中において、各種の事業を円滑に進める。駅北1号・2号公園については、駅北土地区画整理事業施行区域内では、初めての大規模な公園となることから、計画、管理については、地元自治会等と十分な協議をした上で施行をしていく。</li> </ul>	

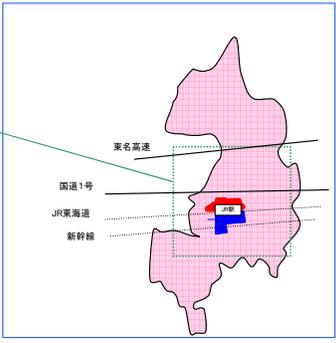
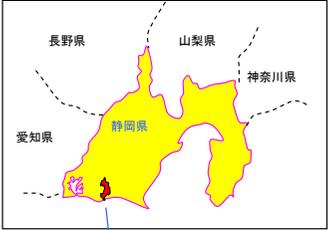


都市再生整備計画の区域

磐田駅北地区(静岡県磐田市)	面積	65.3 ha	区域	磐田市大字中泉、見付、国府台、二之宮、二之宮東の一部
----------------	----	---------	----	----------------------------



位置図



# 磐田駅北地区(静岡県磐田市) 整備方針概要図

目標	広域的都市域の中心拠点として、多様な都市機能を備えた賑わいと活気ある質の高い都市空間・環境を再構築する。	代表的な指標	来街者数 (人)	17,166 (H16年度)	→	17,700 (H20年度)
			商店利用圏内居住人口 (人)	3,124 (H16年度)	→	3,014 (H20年度)
			老朽家屋 (棟)	905 (H16年度)	→	672 (H20年度)

